

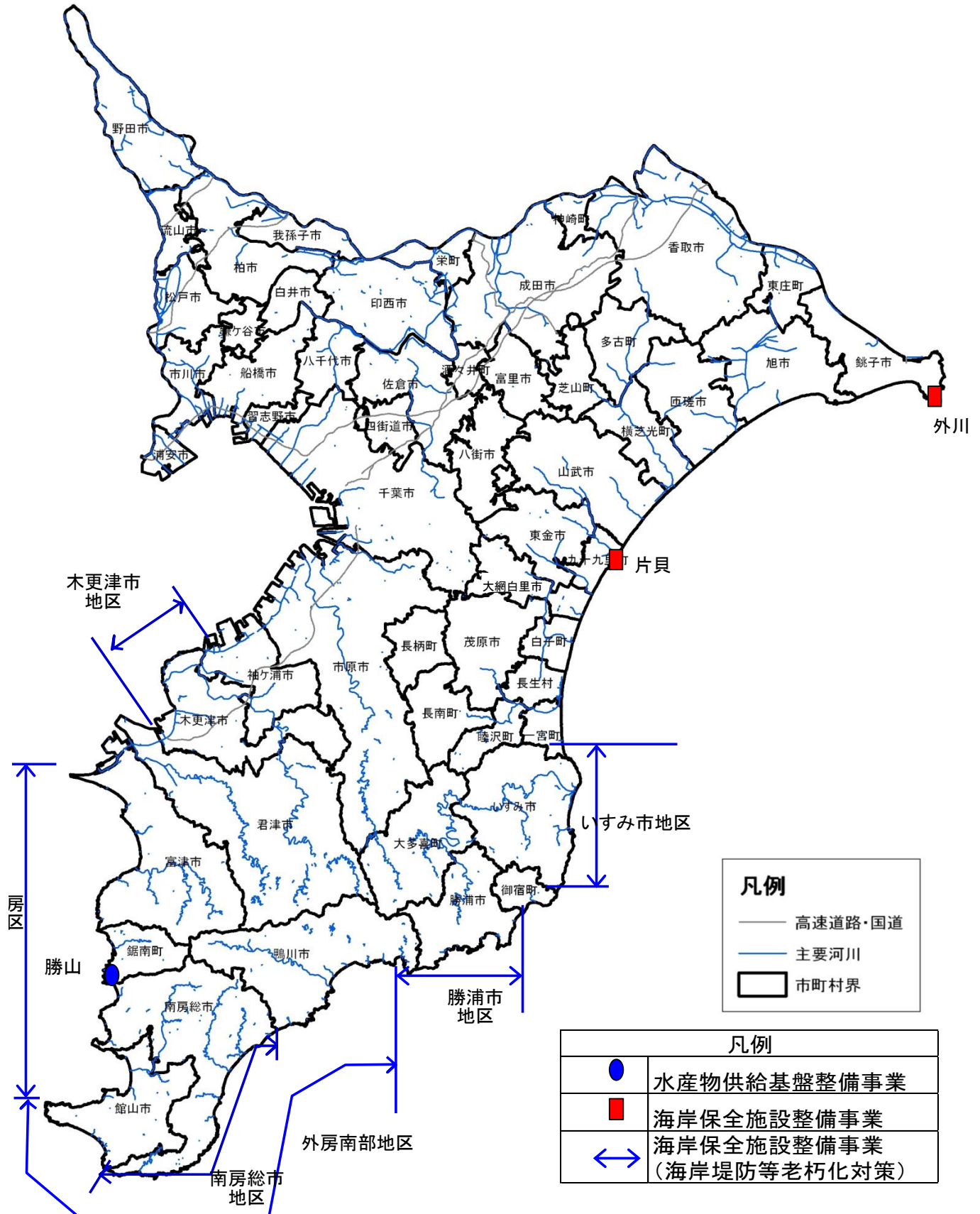
## 農山漁村地域整備計画(3)

<b>計画の名称</b> 千葉県の水産資源・漁業生産性向上及び災害に強い漁港海岸整備の計画(Ⅲ期)
<b>計画策定主体</b> 千葉県
<b>対象市町村</b> (1) 鋸南町 (2) 銚子市、いすみ市、勝浦市、鴨川市、南房総市、館山市、富津市、木更津市、九十九里町、鋸南町
<b>計画の期間</b> 令和2年度～令和6年度(5年間)
<b>計画の目標</b> (1) 水産資源の維持・増大と漁業の生産性向上のための基盤整備を推進するとともに、既存施設の有効活用を行い安全で快適な漁業地域の形成を図る。 (2) 比較的頻度の高い津波に対する整備を推進し、地域防災力の強化を図る。
<b>定量的指標</b> (1) 防波堤の整備により港内静穏度を維持・向上させ、安全係船岸延長の増加(L=163m→L=193m) (2) 防潮堤の整備により防護面積196haを確保する。
<b>対象事業</b> 別紙のとおり

## 農山漁村地域整備計画(3)の対象事業

事業名	事業型		事業実施主体	関係市町村	計画期間内の事業内容 (工種及び数量)	工期	計画期間内の総事業費 (千円)	費用対効果	備考
	事業型	事業箇所名 (地区名)							
水産物供給基盤整備事業	地域水産物供給基盤整備事業	勝山	千葉県	鋸南町	防波堤 47m (全延長L=100mの内 L=53m完成済)	R2 ~ R4	300,000	総事業費が10億円以下のため未記入	目標 (1)
海岸保全施設整備__漁港	高潮対策	外川 (長崎工区)	千葉県	銚子市	防潮堤 250m	R02 ~ R06	610,000	防災対策のため未記入	目標 (2)
海岸保全施設整備__漁港	高潮対策	片貝	千葉県	九十九里町	胸壁 994m 補償 1式	R02 ~ R06	2,500,000	防災対策のため未記入	目標 (2)
海岸保全施設整備__漁港	海岸堤防等老朽化対策	外房南部	千葉県	鴨川市、南房総市、館山市	海岸堤防等長寿命化計画策定 1式	R02 ~ R02	16,600	調査及び計画策定等のソフト整備のため未記入	目標 (2)
海岸保全施設整備__漁港	海岸堤防等老朽化対策	内房	千葉県	館山市、富津市、鋸南町	海岸堤防等長寿命化計画策定 1式	R02 ~ R02	13,400	調査及び計画策定等のソフト整備のため未記入	目標 (2)
海岸保全施設整備__漁港	海岸堤防等老朽化対策	いすみ市	いすみ市	いすみ市	海岸堤防等長寿命化計画策定 1式	R02 ~ R02	6,500	調査及び計画策定等のソフト整備のため未記入	目標 (2)
海岸保全施設整備__漁港	海岸堤防等老朽化対策	勝浦市	勝浦市	勝浦市	海岸堤防等長寿命化計画策定 1式	R02 ~ R02	13,200	調査及び計画策定等のソフト整備のため未記入	目標 (2)
海岸保全施設整備__漁港	海岸堤防等老朽化対策	南房総市	南房総市	南房総市	海岸堤防等長寿命化計画策定 1式	R02 ~ R02	17,000	調査及び計画策定等のソフト整備のため未記入	目標 (2)
海岸保全施設整備__漁港	海岸堤防等老朽化対策	木更津市	木更津市	木更津市	海岸堤防等長寿命化計画策定 1式	R02 ~ R02	6,000	調査及び計画策定等のソフト整備のため未記入	目標 (2)
						~			
合計 (全体事業費)							3,482,700		

農山漁村地域整備交付金対象位置図(3)  
 (千葉県の水産資源・漁業生産性向上および災害に強い漁港海岸整備の計画)



## 農山漁村地域整備交付金整備計画における事前評価(3)

1. 整備計画名 千葉県の水産資源・漁業生産性の向上および災害に強い漁港海岸整備の計画

2. 整備計画年度 令和2年度～令和6年度

3. 事前評価項目

項 目	評価の内容	判定
①目標の妥当性	<p>(1)本計画は、「千葉県総合計画」で取り組んでいる農林水産業の生産力強化を踏まえ、水産資源の生産力向上のための漁港の基盤整備を推進する計画であり、地域の課題に適切に対応する目標となっている。</p> <p>(2)本計画は、「千葉県総合計画」で取り組んでいる災害に強い社会資本の整備推進を踏まえ、津波・高潮による被害を未然に防止するための漁港海岸の基盤整備を推進する計画であり、地域の課題に適切に対応する目標となっている。</p>	○
②整備計画の効果・効率性	<p>(1)本計画は水産資源の生産力の向上に対応する基盤整備を推進するものであり、その指標は漁港の安全係船岸の確保延長といった定量的なものを掲げ、基盤整備の効果を適切に評価できるものとなっている。</p> <p>(2)本計画は、漁港周辺の災害に強い防災基盤の整備を推進するものであり、その指標は防護面積の確保といった定量的なものを掲げ、被害を未然に防止する効果を適切に評価できるものとなっている。</p>	○
③整備計画実現の可能性	<p>(1)事業に必要な技術的条件や事業費といった施工性、経済性の検討を実施し、円滑な事業執行が十分可能である。 また、対象事業各地区で操業している漁業者との合意は十分得られており、事業推進の協力体制も十分整っている。</p> <p>(2)事業に必要な技術的条件や事業費といった施工性、経済性の検討を実施し、円滑な事業執行が十分可能である。 また、対象事業各地区で市町村とともに操業している漁業者や地域住民への説明を行っており、事業推進の協力体制も十分整っている。</p>	○